

聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会、研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、研究について詳細にお知りになりたい場合や診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データから情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	皮弁血管内カテーテル留置による、遊離皮弁術後モニタリングと血栓予防に関する研究		
	※皮弁：皮膚の欠損を覆う手術で用いる「血流のある皮膚」のこと ※遊離皮弁術：皮膚の欠損があるが、傷のまわりに十分な皮膚がないため、体の他の部分から血流の良い組織を移植する方法		
② 実施予定期間	承認後～2021年3月31日		
③ 対象患者	聖マリア病院形成外科に入院して、皮膚欠損のため遊離皮弁による再建術を行った16歳以上の患者さん		
④ 対象期間	承認日までに遊離皮弁法が行われた連続30例		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	聖マリア病院 形成外科		
⑦ 研究責任者	氏名	沖野尚秀	所属 形成外科
⑧ 使用する資料等	診療情報等より下記事項を調査します。 研究対象者の背景：年齢（生年月日）、性別、身長・体重、血圧 既往歴：発症年月日（診断日）、罹患期間 原疾患の治療歴 合併症の有・無、疾患名 既往歴 併用薬：薬剤名、一日投与量、投与経路、投与理由、投与期間 〔臨床検査データ〕 血液学的検査：赤血球数、ヘモグロビン量、ヘマトクリット値、白血球数、白血球分画 [St, Seg, Lym, Mo, Eo, Ba]、血小板数 血液生化学検査：AST (GOT), ALT (GPT), Al-P, LDH, γ -GTP, 総ビリルビン、BUN, クレアチニン、CRP		
⑨ 研究の概要	遊離皮弁による再建術において、吻合部の血栓形成による皮弁壊死が大きな問題となっている。これを防ぐためにこれまで様々な方法が考案されてきた。本研究では、皮弁血管内カテーテル留置を行わない遊離皮弁例と皮弁血管内カテーテル留置を行う例を比較し、遊離皮弁による吻合部血栓のモニタリングと同時に、再手術を行わなくてもベッドサイドで血栓のコントロールができる方法の確立を目指す。		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2017年 08月 08日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧でき		

	ます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。	
⑫ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします	
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。	
⑭ 知的財産権	聖マリア病院に属します	
⑮ 研究の資金源	なし	
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません。	
⑰ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。	
⑱ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 形成外科 沖野尚秀	
	電話	0942-35-3322